様式№２０

煙火消費計画書（№１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 消　　費　　の　　方　　法 | 日時 | 年　　月　　日から　　　　　　年　　月　　日まで |
| 打揚予定日 |  | 打揚予備日 |  |
| 煙火品名及び数量 | 打揚 | 種　　類 | 　　cm玉 | cm玉 | cm玉 | cm玉 | cm玉 |
| 数　　量 | 　　　　　個 | 　　　　個 | 　　　　個 | 　　　　個 | 　　　　個 |
| 発　射　薬 | 　　　　　ｇ　　　　　　　　　　　　 | 　　　　ｇ　　　　　　　　　　　　 | 　　　　ｇ　　　　　　　　　　　　 | 　　　　ｇ　　　　　　　　　　　　 | 　　　　ｇ　　　　　　　　　　　　 |
| 仕掛 | 名称 |
| 打揚・仕掛の場所 | 別紙図面のとおり |
| 消費する煙火の製　造　者　名 | 住所氏名又は法人代表者名（法人のみ） |
| 危　　険　　予　　防　　の　　方　　法 | 観衆人員 |  |
| 消火・防火措置 |  |
| 危険区域の設定 |  |
| 警戒の方法 |  |
| 不発煙火等の回収措置等 |  |
| 現場責任者（火薬類盗難防止措置指揮者） | 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　（生年月日・　　年　　月　　日） |
| 住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　（連絡先℡・　　　（　　）　　　　　） |
| 現場責任者（危険区域内立入禁止措置指揮） | 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　（生年月日・　　年　　月　　日） |
| 住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　（連絡先℡・　　　（　　）　　　　　） |
| 消費作業に従事する者 | 別紙名簿のとおり |

備考　この用紙は、日本産業規格A４とすること。

煙火消費計画書（№２）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 危険予防の方法 | 打揚火薬の入れ忘れ防止対策 | 右記対策のうち実施するものに○印 | ①　速火線等のついた打揚火薬を煙火玉に取り付けて当該煙火玉の装てんと同時に打揚火薬が装てんできるようにする。②　打揚火薬を薬包に入れて速火線等を接続し、打揚筒に打揚火薬を装てんした後、速火線等を筒口から出して打揚火薬があることを明示する。③　打揚火薬の装てんを２名以上で行い、装てん済みの筒と打揚火薬が入っていない筒とが標識等（　　）により明瞭にわかるようにする。④　①ないし③の方法に準じた、打揚火薬の装てん漏れを確実に防止する適切な装てん方法を用いる。（具体的な方法を記載） |
| 消費しようとする煙火と同種のものを安全に消費した実績の有無（いずれかに○印） | 有　　　　　無 |
| 点火者の安全確保の方法 | 右表に記入 |  |
|  | 打揚場所 | 打揚煙火玉の最大サイズ | 打揚筒と打揚作業従事者の離隔距離 | 点火方法（いずれかに○印） | 打揚筒の材質 | 防護措置、安全対策（使用するものに○印） | 　 |
|  | cm | 　　　　m | ・電気点火・導火線点火・直接点火・その他（　　　） |  | ・ポリカーボネート板（　）㎜厚×（　）枚・畳床（　）枚・鋼板（　）㎜厚・ヘルメット着用その他（　　　　） |
|  | cm | 　　　　m | ・電気点火・導火線点火・直接点火・その他（　　　） |  | ・ポリカーボネート板（　）㎜厚×（　）枚・畳床（　）枚・鋼板（　）㎜厚・ヘルメット着用その他（　　　　） |
| ※記入欄が足りない場合は、別紙を作成のこと。 |
| 煙火玉の誘爆防止の方法 | 小雷、花雷、雷球、その他引火しかつ破裂しやすい部品を煙火玉に加えて打揚筒内に仕込むことの有無（いずれかに○印） | 有　　　　　無 |
| 上部部品を打揚筒内に仕込むことが「有」の場合に、当該部品が仕込まれた打揚筒の中に、火の粉が入らないように措置（実施する措置に○印） | ①　筒口に筒蓋を取り付ける。②　筒口をアルミ箔で覆う。③　①又は②に準じた措置をとる。（措置の具体的内容－　　　　　　　　　　） |

備考　この用紙は、日本産業規格A４とすること。